

〈教育目標〉健康で知性が高く自主的で実践力のある生徒

西川中生徒数

発行 R8.9.4 5号



西川中学校通信

中1 76人

959-0422 新潟市

中2 69人

西蒲区曾根 1828 番地3

中3 62人

HP アドレス: <http://www.nishichu.city-niigata.ed.jp>

207人

TEL 0256-88-3148

「かかわりあう(対話)」と「しなやか(自己調整)」そして「わかりあう(志)」へ ～夏季休業あけの全校集会での話より抜粋～ 校長 大平 淳一

夏休み前の全校集会では、以下の話をしました。夏休み中は、通常の学校生活ではできない様々な経験ができる機会があります。是非、様々な物事、様々な方々と「かかわりあい」、対話をすることで学んでください。そして、学んだことを自分自身の学びの中に「しなやかに」活かすこと、自己調整ができるとよいと思っています。年度初めには、積極的に物事に挑戦をしようとも言いました。「かかわりあい」を「しなやか」に活かす挑戦を続けてください。

私自身の夏季休業中での挑戦の報告です。憧れの「槍ヶ岳」登頂に成功しました。日本の標高第5位、3,180mの山です。

「かかわりあう」に関係することですが、初めて登山ツアーに参加しました。素人では登頂困難な山です。安全は極めて大事です。山々を知り尽くしているガイドの方に頼ることが必要と考えました。ガイドの方からは、歩き方、ストックの用法をはじめ、足場の確保、はしごへの手のかけ方など、多くを学びました。また、険しい岩場の部分は、距離にしてわずか200m。登山口から岩場の直前までの20kmは普通の登山、ということも教えていただきました。

片道20kmの山道を、自分自身の足で進んでいくしか方法はありません。槍ヶ岳登山の場合、登山口の上高地から70%くらいがほぼ平坦か、緩やかな登りでした。初日は、雨が降ってきました。雨具を着けての歩行は、なかなか厳しい状況でした。明日の山頂アタックができるのかどうか、そんな心配もありました。登山技術というより体力・気力の勝負。距離1%の岩場でのトライのために、99%の道のりを歩く。困難を乗り越える体力と、あきらめない「しなやか」な心をもつことが大切であることを改めて学びました。

登頂後は、厳しさを共有した仲間同士で、うれしさと達成感を「わかりあう」ことができました。2日前まで全く知らない者同士が、苦しさを乗り越えて、来年もまたどこかの山でお会いしましょうと、声を掛け合うことができました。

山では、使用した後のごみなどは持ち帰ることが原則です。自然環境を守るためです。自然を愛することで、

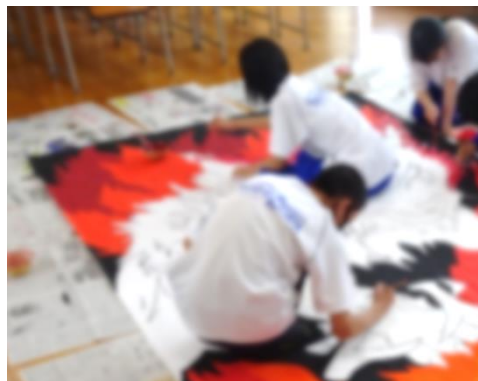


地球環境を大事にする。そして、山や自然を愛する仲間を増やす。私はそのような社会貢献ができればよいと考えます。この「志」をもって、今後も登山を楽しんでいきたいと思っています。

夏休み明け、授業でも、学校行事でも、「対話」「自己調整」にしっかりと取り組み、また、互いの頑張りを「わかりあい」しましょう。そして、人々や社会のためへの一歩、「志」への一歩を踏み出せるようにしていきましょう。

体育祭スローガン 『輝』～みんなが光になる～

8/26(水)、体育祭結団式が行われました。赤・黄の連合に分かれ、応援リーダーたちが熱い決意を語り、全校生徒が一致団結して気持ちを高める時間となりました。夏休みの貴重な時間を使い、連日準備や練習に取り組んだリーダーたちの想いに応え、今度は全校生徒一人ひとりが主役となって活躍する番です。全員で感動を共有できる体育祭を作り上げましょう。そして、見えないところで企画や運営準備に尽力し、体育祭全体を力強く支えてくれている生徒会本部のみなさんの頑張りに感謝し、全校一丸となって成功させましょう！



English Speech Presentation

新潟市の中学校英語スピーチプレゼンテーションに3年生が出場し修学旅行の体験をユーモアあふれる寸劇で英語発表しました。夏休み中も学校に通い、ALTや英語の先生方と猛特訓を重ねて本番に挑みました。難易度の高い英語での寸劇に意欲的に挑戦し、ステージで自分らしさいっぱい表現し切った2人に、心から大きな拍手を送ります！

